

2025年度 小論文

2025年3月2日
北里大学健康科学部

受験番号	W	N	C	4	0					氏名	
------	---	---	---	---	---	--	--	--	--	----	--

【注意事項】

試験問題は、60分です。

1. 試験監督による解答始めの指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は1ページから3ページまであります。
3. 試験監督の指示により問題冊子、解答用紙に受験番号および氏名を記入してください。
4. 解答用紙記入上の注意
 - (1) 解答は必ず解答用紙の指定された欄内に、きちんと記入してください。
 - (2) 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、書き直してください。
5. 問題冊子の余白は適宜使用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて試験監督に知らせてください。
7. 試験中に問題冊子、解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて試験監督に知らせてください。
8. 試験終了後、問題冊子、解答用紙は、全て回収しますので机上に置いてください。持ち帰ってはいけません。

設問 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

感謝とは、そもそもどのようなことを表す言葉なのだろうか。

まず「感」であるが、これは外部のものに触れて心が動くことをいう。

人は境界を閉ざして何もせずにいると、なんにも感じないとということだ。

次に「謝」という文字は「言」という字と「射る」という文字でできている。つまり「言葉を射る」＝「言葉を発する」ということで、相手に何かしらの意思を言葉で伝えるという意味である。つまり「感謝」とは「相手に対して心が強く動き、そのありがたいという気持ちを言葉にして伝えること」だといえる。

著者が通う大学では、最寄駅からスクールバスを使う。毎日、大勢の大学生が利用しているが、感心することに、降車時にほとんどの学生が運転手に「ありがとうございました」と言うのである。古くから本学に勤めている教員に聞くと、その習慣は誰が教えたわけでもなく、学生自らが始めた伝統らしい。学生の真似をして礼を述べると、なぜかすがすがしく心温まる気持ちになるのは著者だけではないだろう。

資本主義社会の下では、人は金銭を対価として払うのだから、サービスを受けるのが当たり前だという感覚を持つてしまう。だからバスで目的地に運んでもらうのは、金銭を支払っている以上、当然の権利ではある。それは契約関係である。しかしそれを権利と義務の契約関係だけで理解してしまうとすると、境界を閉ざしたままのドライな関係しか成立しない。「契約関係」とはいわば、閉じた境界を持つ者同士の間で交わす約束事である。一方、そのようなことにでも感謝することは、その2者の間の境界を拓いて、相手を自分の境界内に受け入れることだと思う。するとそこには、温かい感情の交流が生まれる。

つまり「感謝する」という行為は、境界を拓いてそれを受け入れ、「ありがたい」という気持ちに変える簡単な方法である。

山口創(2016). 人は皮膚から癒される. 東京:草思社. P187-188.

問題 著者の主張に対するあなたの考えを、身近な例をあげて 800 字以内で記述しなさい。

以 上

